

2026 年 7 月 2 日

〒276-0020

千葉県八千代市勝田台北一丁目 11 番 16 号

株式会社地域新聞社

代表取締役 細谷 佳津年 殿

〒107-0062

東京都港区南青山六丁目 2 番 9 号

MTM Capital 株式会社

代表取締役 嶋田 智樹

回答書

前略

株式会社地域新聞社（以下「貴社」といいます。）による 2026 年 6 月 26 日付け質問状（7）（以下、「質問状」といいます。）に対し、以下のとおりご回答いたします。

（1）貴社株式取得の経緯

・2026 年 5 月 11 日付け回答書と変わらず、当社が貴社の株式を取得し、保有する目的は当社大量保有報告書の保有目的である「重要提案行為を行うこと」となり、取得資金は自己資金となります。

・2026 年 6 月 18 日に当社が取得した 355,000 株は ToSTNeT 取引であり、市場内立会時間外取引となる為、取得の別は市場内取引となります。

・なお、当該取得に関する当社の開示について、当社として訂正を要する事実はないものと認識しております。

・当社としては、貴社の企業価値の最大化が貴社株式を保有する目的であり、貴社の株価が上がる、配当が行われる、株価を意識した合理的な経営・企業活動がなされている等であれば、貴社に対する意見は特にないものの、貴社においては、貴社の現経営陣（特に貴社代表取締役である細谷佳津年氏）による自己保身と利益相反が、貴社の企業価値を毀損させ、また、株主を軽視し、株主価値向上に向けた企業活動を蔑ろにしていることから、貴社の企業価値の回復と企業価値の向上が必要であると考えております。

・当社は 2026 年 6 月 29 日時点で 2,031,680 株を保有しておりますが、当社と共同して保有する共同保有者はおらず、今後の 5%超増加する取得については、未定です。

貴社経営陣は自己保身の為、当社を共同協調行為を行う者と一方的に認定・批判ばかりし、株主である当社の質問事項等に対しても株主を軽視した対応を取っています。また、前述のとおり、貴社経営陣は自己保身しか考えておらず、その結果、自己保身と利益相反が貴社の企業価値を毀損させており、その行為を軽視する監査役会もその責任を放棄しているとしか言えません。つきましては、株主を軽視しない、企業価値・株主価値の向上を第一に考える会社提案による健全な経営体制への刷新を求めます。会社提案による刷新が見込めないようであれば株主提案の実施等を予定しております。なお、現時点では、

具体的な議題、議案の内容及び実施時期は未定です。

当社はこれまでもそうですが、共同保有者や意思連絡を行っている相手はおらず、今後も当社が公開した特設サイト及び SNS を通して当社の意思を貴社既存株主及び投資家に対し発信し当社の賛同者を募るつもりです。

（２）貴社株式に関する意思連絡の有無

・（１）にてすでに回答しておりますが、意思連絡を行っている相手はありません。

・オプションハウス社が株式を取得していることは大量保有報告書にて認識しておりますが、オプションハウス社の取得等に当社は一切関与しておらず、その経緯等についても当社はあずかり知らないものであります。当該質問状においても、貴社は当社とオプションハウス社等に一定の意思連絡があったことは明らかと勝手な憶測のみで記載しておりますが、このような自己保身しか考えない視点で貴社の株主を見ている現経営陣からは貴社の企業価値・株主価値を向上させようという気概が一切見受けられません。

（３）貴社経営への関与方針

・貴社の対応状況を見極め、具体的な内容、時期については、改めて通知することを検討しております。

なお、当該内容が決定した際には、改めてその旨を記載した変更報告書を提出する予定です。

・現時点において、取締役の選任、資本提携、事業提携その他の経営関与に関する具体的な議題、議案の内容又は実施時期として決定した事項はありません。また、今後の貴社経営方針に関する発言又は議案提案についても、貴社の対応状況を踏まえて検討するものであり、具体的に決定した事項はありません。

以上